

令和5年度 関東高等学校女子バスケットボール大会 兼 第77回 関東高等学校女子バスケットボール選手権大会

令和5年6月10日(土) Bブロック 1回戦 緑が丘スポーツ公園体育館 コート 第4試合

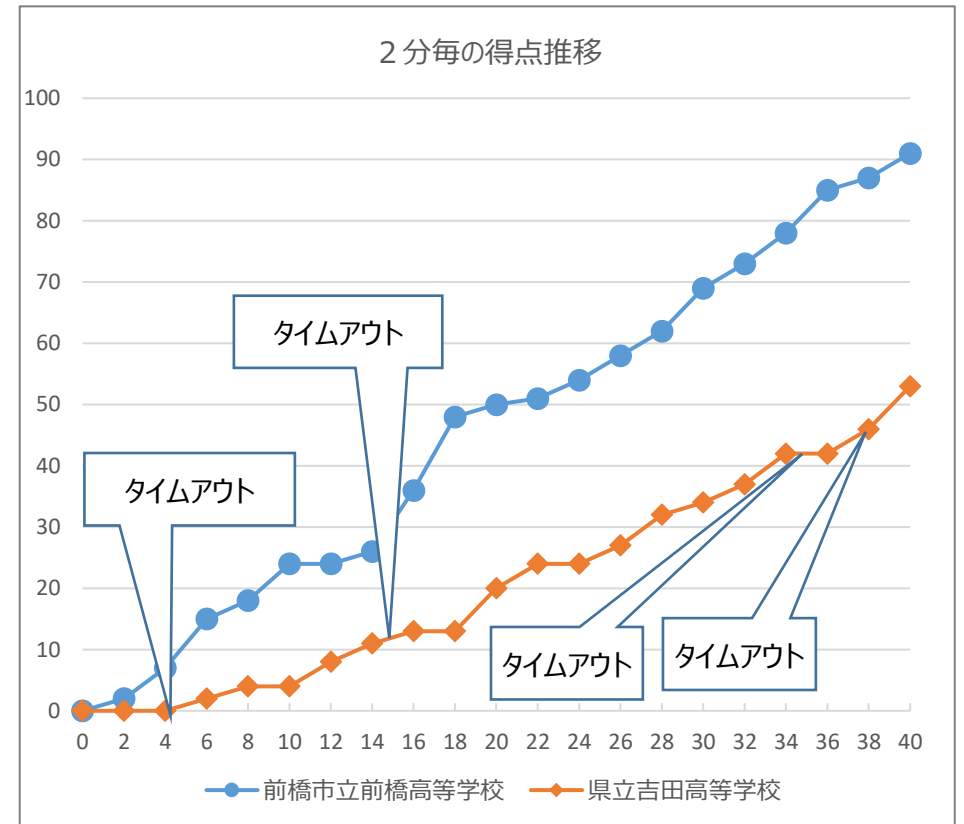
チームA		24	1st	4			チームB
前橋市立前橋高等学校 (群馬県)	91	26	2nd	16	53	県立吉田高等学校 (山梨県)	
		19	3rd	14			
		22	4th	19			
		OT					

Aチーム： 前橋市立前橋高等学校

	S	No.	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS		
					M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT
1	*	4	関口 まお	11	2	6	2	3	1	1	1	1	2	3
2	*	5	小室 菜々子	10	2	4	2	4	0	0	0	0	0	0
3	*	6	阿久津 みなみ	4	0	0	1	4	2	2	4	1	2	3
4	*	7	戸塚 妃莉	7	1	2	1	4	2	4	4	2	2	4
5		8	三富 さくら	5	0	1	1	3	3	4	4	0	2	2
6		9	鈴木 優良	2	0	3	1	2	0	0	0	1	3	4
7	*	10	銚田 ひかり	10	0	0	4	7	2	4	2	2	2	4
8		11	中沢 愛心	2	0	1	1	1	0	0	5	0	0	0
9		12	吉田 海愛	14	2	2	4	6	0	0	1	0	0	0
10		13	松井 瑠花	4	0	0	2	3	0	2	4	1	1	2
11		14	瀧本 真莉亜	9	0	0	4	6	1	2	4	4	3	7
12		15	関口 いろは	6	0	1	3	3	0	0	0	0	1	1
13		16	佐々木 愛心	5	0	2	2	3	1	1	0	0	0	0
14		17	戸谷 夢姫	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0
15		18	佐俣 萌果	2	0	1	1	3	0	1	1	0	2	2
HC/TEAM			赤石 和子									1	4	5
合計				91	7	24	29	54	12	21	30	13	24	37

Bチーム： 県立吉田高等学校

	S	No.	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS		
					M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT
1	*	4	長田 さくら	0	0	2	0	1	0	2	2	0	1	1
2	*	5	新井 美古都	6	0	0	2	4	2	4	1	0	3	3
3		6	大森 凜	0	0	0	0	2	0	0	1	0	1	1
4	*	7	佐藤 玲渚	5	0	3	1	1	3	4	3	1	1	2
5		8	長田 百加											
6		9	三浦 美乃	0	0	0	0	3	0	0	0	1	1	2
7	*	10	市川 桃風	18	2	8	4	9	4	5	4	1	6	7
8		11	深港 菜緒	4	0	1	2	2	0	0	0	0	1	1
9		12	光井 七星	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0
10	*	13	舟久保 凪	13	0	0	1	9	11	13	0	3	7	10
11		14	遠山 晴菜	2	0	2	0	4	2	2	1	0	0	0
12		15	渡邊 葉琉	4	0	1	0	1	4	4	1	0	0	0
13		16	谷口 瑠菜	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	1
14		17	三枝 晴	1	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0
15		18	近藤 由來	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
HC/TEAM			渡辺文章									2	3	5
合計				53	2	17	10	38	27	36	16	9	24	33



戦評

記者者：古屋 卓人（山梨県高体連）

1 Q、両チームともにマンツーマンディフェンスから入り、開始3分間、粘り強いディフェンスから一進一退の攻防が続くが、市立前橋#5の3 Pやファストブレイクからのレイアップと連続得点をし、市立前橋が良い流れを作った。対する吉田は#13のポストプレーやスクリーンプレーでオフェンスのリズムを作ろうとするも市立前橋の3 Pがよく決まり、24-4で市立前橋がリードして終了。

2 Q、吉田#5ジャンプシュート、#13ポストプレーの連続得点から幕を開けた。2 Qは両チーム、トランジションの多い展開となった。良い流れを作りたい吉田は残り5分41秒でタイムアウトを取るが、市立前橋はオールコートマンツーマンで仕掛け、攻撃回数を多く作り、#4の3 Pやドライブから合わせのプレーなどでリズム良く得点を重ねていった。2 Qも市立前橋が試合のペースを掴み、50-20でリードして前半を折り返す。

3 Q、市立前橋は1-3-1や2-1-2などゾーンディフェンスで変化をつける。それに対して、吉田は#10が合わせのプレーから得点したり、ハイポストから果敢にドライブをして得点したりするなど粘りを見せる。しかし、運動量で勝る市立前橋はパッシングやスクリーンプレーなどから相手とのズレを作り、#7、#10が得点を重ね、69-34で点差を広げ、3 Qを終えた。

4 Q、試合の流れを変えたい吉田は#5の果敢なドライブやスティールから連続得点するも、市立前橋の厳しいハーフコートマンツーマンの前に良いリズムを掴みきれない。1試合を通して、市立前橋は堅守速攻から得点を重ね、91-53で市立前橋が勝利を収めた。

主審	第1副審	第2副審
藤本 梨紗 (神奈川)	小柳 幸子 (埼玉)	畔上 愛怜 (東京)